

1 団体名

ぼんぼこ山保育園 広島県庄原市東城町森149-2

2 令和3年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

① ぼんぼこ富士

ぼんぼこ山保育園の園庭とぼんぼこ原っぱの間の水路の整備を行ないました。当初は工事期間が3日の予定でしたが、地盤改良や暗渠などの工事が必要になり、2か月間の難工事となりました。

この工事によって発生した大量の土砂を使ってぼんぼこ富士を園庭につくりました。園舎の屋根ほどの高さがあるぼんぼこ富士は園児にとっては格好の自然遊びの場です。園舎の屋根ほどもある真砂土の山を這い上ったり、頂上から滑り降りたり、寝転んで転がったり、滑り台では経験できないワイルドな遊びを堪能していました。

また、雪の降り積もったぼんぼこ富士は園児にとってはさらに魅力的な遊び場です。腰まである雪をラッセルして登ったり、頭から滑り降りたり、ソリで滑ったり、園児達は寒さを忘れ時間を忘れて遊んでいました。



② 道後山登山・徳雲寺遠足

道後山登山は今年度で2回目となり、ぼんぼこ山保育園の年中行事として定着しています。頂上までの道のりは倒木があったり、笹のジャングルがあったり、瓦礫の道があったり、道のりは園児にとっては探検そのものでした。また、頂上に立った時の達成感は、園児達に困難にめげずにがんばりと勇気を培ってくれます。頂上からはるかかなたに見える中国山地や日本海の風景を見て、園児達は多いに感激し忘れることが出来ない一日となりました。



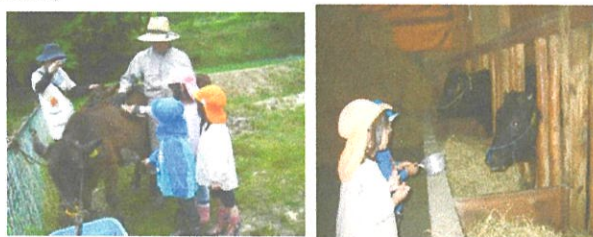
またぼんぼこ山保育園から3km程の所にある徳雲寺への遠足を春と秋に行っています。春の新緑と秋の紅葉、境内での座禅体験は園児たちに自然の素晴らしさを感じさせてくれます。



③ 森の牧場

森の牧場が、20頭あまりを飼育できる新しい牛舎に引っ越し、ぽんぽこ山保育園の園児が餌やりをしている「牛之介君」と「やまみちゃん」も一緒に引っ越しをしました。新しい牛舎は、ぽんぽこ山保育園から2km程のところであり、園児達も山道を歩きながら餌やりに通いました。

「牛之介君」は11月の牛の競り市で売られていきましたが、牛の飼育体験は、身近な動物との出会いであり、悲しい別れの体験でもあります。



(2) 遊びの事例や子ども達の育ちに関すること

① 笹のジャングルの忍者ごっこ遊び

道後山の登山の途中にある笹のジャングルで、園児達は忍者遊びをはじめました。



園児達の背丈程の笹のジャングルは、姿を隠す絶好の忍者屋敷の隠れ家に早変わりしました。「声はすれども姿はなし。」「突然横から現れ笹の中に消える。」園児達は忍者になって時を忘れて遊びました。

② 大人とお友達

道端の畑で野菜づくりをしていたお年寄りのお手伝いを始めました。園児達は、大喜びでホースをひっぱって畑の水やりを手伝いました。「おじいちゃんのお家に遊びに行ってもいい。」「おばあちゃんはどこにいるの。」

「明日もお手伝いに来るよ。」と言ってお手伝いの約束をしていました。園児達は自分達で次のお手伝いの計画を立て始めていました。



(3) その他、自然体験活動の実施にあたって工夫したこと

① 行事の日（地域に出かけて保育園の行事を実施）

今までは地域の人々を保育園に招き、沢山の人々に保育園の行事を楽しんで頂いていました。しかし、新型コロナの感染予防のために、保育園の行事を園児と保護者だけで実施したり、中止したりすることもありました。



そのため、今年の秋祭りから御輿を引っ張って地域の家々に出かけ、家の玄関で御輿を楽しんで頂いたり、節分には園児達が鬼の面をかぶって家々を回りました。大勢の園児たちの突然の訪問に元気もらったとお年寄りに大変喜んで頂きました。



② 「てご」の日

今までは「田んぼちゃん」やぼんぼこ畑で地域の人々と園児達がいっしょに田植えをしたり、野菜を植えたり、収穫したりして交流していました。

さらに、今年から、園児が直接農作業をしている畑や農園を訪問してお手伝いをさせてもらうことにしました。また、近所のお年寄りの家で雪かきのお手伝いもしました。大人の人々にいろいろと教えてもらいながら、お手伝いをしたり、お話をしたりして、園児達はすぐに打ち解けていました。コロナ感染予防をしながら地域の人々との深い交流ができました。

